

あけましておめでとうございます。
とっているタイミングでもなく、昨日、関西の入試とセンター試験が始まり、
入試は本番です。

この通信もやはりタイミングがあるなあと感じているので、月刊でスタートしまし
たが、週刊ぐらいにはしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

さて、いよいよ入試ですが、5年生のみなさんは、あと1年になりました。
その意味では、本号からも次の受験に向けての情報を増やしていきたいと思いま
す。

今後ともご愛読ください。

雪の備え

試験日に雪が降る、という場合があるでしょう。

気にしなければいけないのは3点

- (1) 交通機関の乱れ
- (2) 防寒
- (3) ころばないためのくつ

(1) については、やはり若干早めに出ることが大事です。ただ、公共交通機
関を使っていて、電車が遅れる場合、学校側は当然、遅刻の生徒に対して特別処置を
します。
一度、1日校が午後に入試を行ったこともありますね。
ですから、あまり早く行き過ぎてもいけない。今度は外で待たないといけなくなりま
す。

電車が止まった場合、複数の行き方ができるか、一応確認しておきましょう。
問題はタクシーで向かうかという議論ですが、これはやめた方がいい。
渋滞で、動けなくなった場合は、電車よりも時間がかかってしまう可能性が高いです
。ですから、復旧を待つ方が無難でしょう。

(2) 早くいたり、駅で待つということを考えると、防寒には工夫が必要です。携
帯カイロをはじめ、いろいろな防寒グッズはありますから、寒くならないように準備
しましょう。

(3) 面接がある場合、どうしても良い靴を履きがちですが、雪の日はとにかくころ
ばないように注意しないといけません。

スノーブーツなどすべらないものを用意し、靴ははきかえるといいでしょう。

お母さんのヒールの高い靴などは、まったくだめです。

一度、校門の前で見事にころばれた方を見たことがあります。やはりおしゃれなヒ
ールの高い靴でした。

2月1日はなぜか、雪がふることが多いのです。今年のようなカラカラ天気でも突然
そうなったりしますから、準備はしておきましょう。

幼い子を中学受験に向けるには？

最近は小学生にしても中学生にしても以前に比べて精神的に幼くなっています。

これはやはり兄弟姉妹が少なくなり、親の目が行き届いてきたために、自分でいろいろなことをする機会が少なくなっているからです。

例えば小学生は自分の部屋の掃除をしないだろうし、洗濯物もたたまないでしょう。何でもお母さんにやってもらうということでは、自分で苦労することが少ない分、なかなか精神的な成長が期待できません。一方で、そういう環境の中で反抗期だけは従来通り出てきますから、「口ばかりで行動がともなわない」子どもたちがたくさん出てきていることになります。

その意味では、やはり早くからいろいろなことを子どもたちにさせる必要があります。それと同時に、家族としてみんなのためにする仕事も持たせていくことが大事です。

我が家の話で言うと、息子の「風呂番」と娘の「夕飯の後片付け」はすでに8年近く続いています。息子は大学生になって、さすがに毎日というわけにはいかなくなりましたが、それでも家にいるときは家族のためにお風呂を用意するという仕事を受け持っています。これは中学生のときも、高校生のときもずっと続けてきてくれます。ただ、私はやらせたことはありません。忘れているときは、「お風呂、頼むよ」と言っていました。反抗期のときは「自分で入りたければやればいいのに」と言っていました。それでも頼むと「しょうがないなあ」といいながら、やってくれました。そしてやってくれたら「ありがとう」を必ず家族みんなですることにしていたのです。

人のために何かをするということは、小さいときから練習させておく必要があります。そしてやってもらったら必ず「ありがとう」という言葉をいうこともきちんと教えておきましょう。自分がする立場になるときも、してもらう立場になるときも相手の気持ちがわかるようになれば、それもまた幼さを克服する大事なステップになると思います。

でも「お母さんの仕事なのに、なぜ僕がやるの？」というような言葉も聞こえてくるかもしれません。

その時は「家族はチーム」という考え方を教えてあげてください。

みんなで住んでいる家です。家にはたくさんのお仕事があります。それをお母さんがすべてやるというのはもともと変な話なのです。チームで家事をやる、だからお父さんにも子どもにも役割があるのだとお話してください。

ただし決して怒ってはいけません。

田中貴の本

田中貴の本がiPhone, iPadでお読みいただけます。

iPhone, iPadをお持ちの方はApp Storeから「HougakkanBooks」で検索してください。「中学受験、合格して失敗する子、不合格でも成功する子」に続き、「中学受験、成功する親、失敗する親」「子どもを慶應義塾諸学校に入れる」をお買い求めいただけます。

HougakkanBooksのアプリページはこちらから
<http://itunes.apple.com/jp/app/hougakkanbooks/id484399590?mt=8>

田中貴監修 映像教材のご案内

5年生のみなさん、いよいよ理科計算が始まります。
その最初の教材として「これでわかる水溶液」をご紹介します。

水溶液は濃度計算と溶解度計算では考え方が違いますし、中和や金属の反応でも比例計算を使います。まず、ここをしっかりと突破しましょう。

詳しい内容はこちらから
<http://tanakatakashi.web9.jp/1/archives/2091>

編集後記

男の子で中学受験に向かない子がいます。

プライドが高く、我慢が出来ない子、がそうです。プライドが高いのは良いのですがそこで、我慢が出来ないと、成績が下がったり、勉強が大変になったりするたびにめめます。

だから早めに我慢することを教えることが大事。そういう意味では、サッカーや野球なども受験に役立つのです。

トータルに子どもを育てるという視点、中学受験でも忘れてはいけませんね。

田中貴.com

mail info@tanakatakashi.com
URL <http://tanakatakashi.com>
購読の中止はこちらから
<http://tanakatakashi.web9.jp/1/magazine>
